

登録コード	A3592478	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅱ					担当教員	城田 徹央
英文授業名	PresentationⅡ						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	造林学に関する専門的な知識や研究能力を修得している	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	造林学に関する専門的な知識や研究能力を修得しており、国際的で持続可能性の視点から地域課題の解決に資することができる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	造林学に関する造林学に関する専門的な知識や研究能力を修得しており、国際的で持続可能性の視点から地域課題の解決に資することができる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	造林学に関する専門的な知識や研究能力を修得しており、国際的で持続可能性の視点から地域課題の解決に資することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	ゼミ形式で行います。半期に3回のプレゼンテーションを行ってもらいます。						
(5)授業計画	テーマを決めて、そのテーマに即した情報を収集してもらいます。またこれらをレビューし、ストーリー性のあるプレゼンテーションを行ってもらいます。 最終週にアンケート調査を実施します。						
(6)自主学習の指針	論文の通読。						
(7)成績評価の基準	10件以上の論文を収集・紹介してもらいます。これを満たせば60点とします。レビューの質によって最大40点までで加点します。提出が満たない場合、提出期限を遵守できない場合には単位を認定しません。						
(8)事前事後学習の内容	積極的に多くの情報を収集し，プレゼンテーションの段階で適切な取捨選択を行ってもらいます。						
(9)テストやレポートの予定	プレゼンテーションのみで評価を行います。テストやレポートはありません。						
(10)成績評価の方法	プレゼンテーションの円滑さとバックグラウンドとなる情報収集能力を問います。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	基本的にメールと面談で行います。shirota@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	特にありません。						
【教科書】	ありません。						
【参考書】	各自で関連分野のテキストを熟読しておくことを強く奨励します。						